

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

秋の夜長の
10月号

福玉便り

通巻第41号

2015年10月1日発行

ふく たま だ よ り

発行:『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部
編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉メール:fukutama@431279.com
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731
監修:西城戸誠(法政大学)、原田峻(立教大学)

埼玉県内に避難されている方へ

福玉バーベキュー大会

2014年度“埼玉S級グルメ店”に認定されたお店で、最高品位の「豚肉」をみんなで楽しく食べませんか?

●開催日 2015年10月31日(土)

- 集合10時00分～受付開始
- 10:30～11:00開会イベント
- 11:00～12:00バーベキュー
- 終了後解散

●集合場所 レストランサイボク前

※現地集合 住所:日高市下大谷沢546(株式会社埼玉種畜牧場)

電話:042-985-4272(レストランサイボク)

●参加費 大人(高校生～):500円

子ども(中学生以下):無料

※バーベキュー時の飲み物代は、各自で負担をお願いします。

●募集 160名(定員になり次第締め切り)

●受付開始 10月5日(月)午前10時～

●お申込み 埼玉県労働者福祉協議会:

TEL048-833-8731

福玉BBQバス 走ります

(越谷→さいたま新都心→サイボクハム)

★定員45名

バス料金:大人(高校生～)1,000円

小人(小学生・中学生)500円 未就学児 無料

※バスの詳細については、バスをお申し込みの方に別途ご案内いたします。

先着
160名様

温泉もありません♪

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

コープみらいフェスタ in スーパーアリーナ

11/3(火・祝) 10時～16時

さいたまスーパーアリーナ 入場無料

同時開催

- 医療生協さいたま健康フェスタ
- さいたま THE(地)スイーツフェア
- 国際フェア2015

詳しくは、コープみらいのホームページをご覧ください

コープみらいの食育「たべる、たいせつ」をテーマに開催します。人気のコープ商品や産直野菜、東北からのお取引先など約80社が試食・販売する物産展や親子で楽しめる食の体験企画、ステージを

お楽しみください。

会場には、東日本大震災復興支援団体や避難者の団体による、物産の販売や活動の紹介をはじめ、東京電力福島第1原発事故で立ち入りが厳しく制限されている、福島県双葉町の“今”を伝える写真を展示します

【問合せ】コープみらい埼玉県本部 048-839-2711

NHK FMさいたま『福玉便り』コーナー

毎月第4火曜日

午後6時～午後6時50分

(FM85.1MHz 秩父83.5MHz)

☆次回放送は10月27日(火)午後6時～午後7時の間の「生放送」です。



福玉便りのお届け作業を

一緒にやったださる方、大募集

10月23日(金)13:30-16:00ごろ可能なお

時間で。場所:埼玉労福協(とさわ会館4F)

印刷などの都合で日程が変更になるとき

があります。できれば、ご一報・ご確認いただければ幸いです。

労福協048-833-8731まで



●福玉募金の送金はこちらへ

郵便振替口座▶00160-0-291210 銀行▶中央労働金庫さいたま支店普通預金6600705

銀行振込の場合は、お手数ですが、メール・電話等でご一報ください。領収書等お送りいたします。

問い合わせ▶認定NPO法人ハンズオン!埼玉 TEL048-834-2052 ※寄付金には、税額控除があります。

トトロの森でお散歩しませんか？

10月10日(土)10時～ トトロの森(狭山丘陵)

埼玉県狭山丘陵には、あの「となりのトトロ」のモデルになったと言われている雑木林があります。首都圏に残された緑の里山で、お子さんと一緒にのんびりお散歩しませんか？

「クロスケの家」という昔ながらの民家で、ゆっくりお話ししながらお昼を食べましょう。トトロの森のホームページもありますので、ぜひチェックしてみてください。散策には気持ちよさそうな森の写真、トトロのイラスト入りのマップなどがあって、ワクワクします。気候の良い時期。楽しい、楽しいピクニックになりますように。みなさんのご参加、お待ちしております！

集合場所：西武球場前駅 駅から歩いてお散歩します。

1時間ほど散歩して、『クロスケの家』に行くことになっています。しっかり歩ける格好でお越しください。小さいお子さんで大変な場合は、現地(『クロスケの家』)に11時半頃に来ていただいても大丈夫です。

住所：所沢市三ヶ島三丁目1169-1 帰りは、バスで『小手指駅(西武池袋線)』へ行きます。

当日の注意：動きやすい服装／水筒／虫よけ等、各自ご用意くださいね

参加費：無料／お昼は持参をお願いします

HP：http://www.totoro.or.jp/intro/totoro_forest/index.html

申込み：メールcheer@kxa.biglobe.ne.jp(吉田)お電話：070-5080-4494(鈴木)

ぽろろん♪の時間



江戸情緒満喫！

富岡町復興支援員・

船

労協主催の、屋形船による「富岡町サロン」が、8月26日に開催されました。当初50名募集のところ前評判も良く、問い合わせの電話が殺到し、80名近くの申し込みがありました。船宿の計らいで大型船に変更してもらい、先着順70名、他はキャンセル待ちとさせていただきました。

集合場所の浅草雷門には、小雨にも拘わらず受付開始時刻の約一時間前からそれぞれ参集し、受付開始時にはほぼ全員出そろい、参加者が期待感、高揚感をもっていることがわかりました。また、はるばる郡山市から、お二方の富岡町職員が出席されました。隅田川吾妻橋下の

「悪臭立ち込める隅田川」は、遠い過去の話。個人的にはいちじるしく

進歩を遂げた水質改良技術で、原発の汚水コントロール、そして双葉地方海岸から釣り船の風景が復活する事を願いながら、全員無事下船となりました。

(富岡町復興支援員 番屋・鈴木)



ほっとひといきママランチ

9/9、大宮パレスホテルにて開催

9月9日、大宮のパレスホテルで、『ママランチ』が開催されました。



浪江町、大熊町、富岡町、いわき市、郡山町、白河市、南相馬市から避難されているお母さんとお子さん20人ほどが集まり、ホテルのランチバイキングを楽しみました。

当日ご参加くださった大熊町のママお二人は、原発事故前に偶然同じ職場に勤めていたそうです。埼玉に避難して、再会し、交流会参加は2回目とのこと。「埼玉の高校受験は福島受験とは違って、いろいろ難しいですね・・・」と親ならではの悩みも打ち明けてくれました。

また、「新しい出会いがあつて嬉しかった」という声を寄せてくださったお母さんもうらっしゃいました。



復興支援員さんが企画してくださった「ほめシャワー」では、お隣の人に「いつも頑張ってくれて、ありがとう」「今日のお洋服、似合っていますね」「遠くまで電車に乗って来られて、えらい」など・・・みんなの笑顔が見られました。ほめてもらえる喜びは、子どもだけではなく、ママも同じですね。子育てしながらの避難生活。たまには、こういったホッとできる時間が、ママたち一人一人にありますように。(編集部・吉田)

盛り上がった相馬盆踊り大会 (おあがんなんしょ)

8月23日、毎年恒例の「納涼相馬盆踊り大会」を開催しました。今年は屋内会場ではありませんでしたが、「おあがんなんしょ」にご縁のあった方々の名前入り提灯を壁に貼り、温かい盆踊り会場になりました。踊りの先生の先導で大きな輪ができ、輪の中央では、大太鼓二つにダンボールのハンドメイド小太鼓八つを皆で代わる代わる打ちました。叩いていて気持ちいがスッキリ！熱い想いを太鼓にぶつつけました。



その同級生の方による、生歌と生笛の熱演で雰囲気はマツクスとなり、花を添えてくださいました。



地元では、それぞれが仮装をして踊りコンテストがあるとか。「来年は仮装をしてみようか」と、想いは早くも来年に飛んでいました。CDを使って踊るも良いけれど、故郷の貴重な伝統は少しでも何処かに繋いでいきたいな・・・と、強く思いました。また来年も、みなさんの力



をお借りして、それぞれの町風の踊り方が出来る楽ししいと思います。

銅賞！ おあがんなんしょの竹飾り

8月8日・9日、ふじみ野市上福岡七夕祭りに竹飾りを出展しました。日頃の交流会で作ってきたパーツをまとめて出来上がったものです。25点の中から、なんと銅賞に選ばれました。

(おあがんなんしょ実行委員会 松館)

あの時、いま、これから

震災と原発事故の記憶や想いは、人それぞれです。過去の記憶は、しばしば、人の「いま」を縛りますが、同時に私たちの「これから」のために大切なものです。さまざまな、あの時、いま、将来のことを語っていただきました。

残念

藤田博司（双葉町から加須市へ避難）

税金の申告の書類が整ったので役場へ申告に行こうと言っていた時、大きな揺れがきました。家内は家から飛び出し、中にいた私に外に出るように促しました。何度も言うので出て見ると、電柱は斜めになり電線は大きく揺れておりました。牛達は、怯え運動場内を声を上げながら駆け巡っておりました。

私は、和牛繁殖をしておりました。親牛6頭子牛4頭の計10頭を飼っておりました。5年に1度の全国和牛共進会の福島県代表の候補牛に2頭の子牛がおりました。代表に成らなくとも福島県を応援に行こうと、話しておりました。

防災無線は、大津波が発生するので避難するよう何度も放送しておりました。我が家は海岸から3キロあり海拔も20メートルなので心配ないと思っていたが、役場職員がわざわざ来てくれましたので、毛布等を車に積み裏山に逃げました。夜になっても停電のままなので、役場へ避難しました。

翌日明るくなかったので、家に

戻り牛に餌を与え寝藁を取り替えていたところ、家内が川俣町に避難するように言われたと、帰ってきました。なぜ避難しなければならぬのかは、わかりませんでした。おそらく原発事故かと思いましたが、夕方には戻れると思いましたが、家内は車に毛布・衣類や菓子などを積み足し出発しました。途中でガソリンが少ないうちに気づき何軒ものスタンドに行きましたがどこも聞いていませんでした。家に草刈機の混合油を作るため買って置いたガソリンを思い出し戻りました。途中警察車両と会い防毒マスクをして、戻ってはだめだと言われましたが、無理に戻りガソリンを入れ川俣町に向かいました。道路は渋滞で1時間ぐらいの所、4〜5時間かかりました。途中、廃校になった小学校を公民館にしたところで世話になりました。

牛を外に出すかとも思いましたが、人間に危害を与えるに困るので牛舎に入れて置くように指導されましたので、放しませんでした。家内は、水も餌も

なく餓死するのはあまりにもかわいそうだと言ったが致し方ありませんでした。県から殺処分を希望するかのアンケートがあったので、何も飲み食い出来ず餓死するよりは、安楽死の方が苦しまないだろうと、希望する旨提出しました。しかし何時になっても実行されませんでした。

4月21日に一時帰宅のときは、出産間近の牛1頭が死んでいて、牛達はその牛を踏まんばかりに走り餌を求めました。牛舎から30〜40メートルの池からバケツで、何回も水を運び十分に与え、容器にもいっぱい汲んでやりました。乾燥草も与えませんでした。普段寝床はグジャグジャに濡れているのに、水が飲めず小便が出ない為乾燥しバサバサでした。

ひと月位して帰宅すると、若い牛1頭だけ生きていました。それも骨と皮だけに痩せ衰えてみるも哀れでした。死んだ牛は、牛舎の中で骨だけになり、まるでサバンナの動物の死骸を見るようでした。人間を信頼していたこの牛達になんとお詫びの言葉を言ったらよいか言葉が見当たりませんでした。

長瀬町、秩父鉄道を目の前にする一戸建ての「カラッポのおうち」は、ひなびた村落の中にあり、有志が修理、改修したあと、2013年よりカラッポのおうちの会が運営する短期保養の家になりました。子どものためにおとなができることをとの願いを込めて立ち上げ、会員は今でも増え続けています。

「カラッポのおうち」でひと休みしませんか



より低い放射線量のもとで過ごし、家族の精神的な負担を軽減して楽しい時間を過ごしていただくこと、また故郷を離れて暮らすことを強いられ、将来に対する不安の中で

何かのお役に立つことは、カラッポのおうちの大きな願いです。気晴らし、お友達の家族と過ごす、観光する、バーベキューをするなどなど。どこにお住まいの方でも！

今まで来られたご家族は、花火をしたり、自然の中で過ごしたり、観光地へ行ったり、家の前を走るSLを見たり、楽しい時間を過ごしています。

利用についてはホームページをご覧ください。なるか、事務局へ気楽にお問い合わせを



<http://karapponoie.web.fc2.com/index.html>
《事務局連絡先》 090-8502-6207 090-8442-1364(杉村)

ここカフェ@川越主催

【座談会】原発ADR&原発訴訟について、ざっくばらんに教えてもらおう!

日時:10月23日(金)10時~12時

場所:川越ウエスタ(JR川越線・JR埼京線・東武東上線の『川越』駅から徒歩5分)2階・和室

講師:小林玲子弁護士(日本弁護士連合会・災害復興支援委員会・副委員長)

申込:070-5080-4494(鈴木) cheer@kxa.biglobe.ne.jp(吉田)



原発ADR、原発訴訟について弁護士として関わり続けている小林弁護士をお招きして、和室でゆっくりお話を伺いませんか? オープンに座談会形式でお話を聞けるので、少し難しい印象のあるADRや訴訟について、理解を深め、どう関わっていけばいいのか、話し合う場になればと思っています。これまでの原発ADRの傾向、これまで行われてきている原発訴訟のこと、お話できる範囲で、いろいろとお聞かせいただければと思います。



ご参加人数に限りがありますので、どうぞ、お早目にお申込みください。避難指示区域、内外を問いませんので、みなさま、どうぞご参加ください。

【座談会】甲状腺エコー検査の画像のこと、ざっくばらんに教えてもらおう!

日時:11月末の土日のどこか(決定次第、次号の福玉便りに掲載)

場所:川越ウエスタ(JR川越線・JR埼京線・東武東上線の『川越』駅から徒歩5分)

講師:甲状腺エコー検査の資格を持つ医師(打診中・決定次第、次号福玉便りにて掲載)

申込:070-5080-4494(鈴木) cheer@kxa.biglobe.ne.jp(吉田)

子どもの甲状腺エコー検査の画像は、開示請求をすることで取得できます。お子さんの画像を実際に医師に見ていただきながら、画像の持つ意味を教えてもらいませんか? 普段、心配に思っていることも、相談してみましょう。これまで、子どもたちの健康相談をボランティアで行ってきている医師に打診中です。

ご参加人数に限りがありますので、こちらもお早目にお申込みください。避難指示区域、内外を問いませんので、みなさま、どうぞご参加ください。

避難用住宅の提供打ち切り撤回と、避難用住宅の長期無償提供を求める署名

東日本大震災そして原発事故の発生以来、避難生活の問題の改善を求める署名がいくつも行われてきました。原発損害賠償の時効については3年から10年に延長されることになり、高速道路の無料化については、一部ではありますが実現されました。しかし、生活の基盤となる住宅の問題については未だ成果が得られていません。

国と福島県は、避難指示区域以外から避難している方々について、公営住宅を利用した「みなし仮設住宅」を含む応急仮設住宅の提供を2017年3月末で打ち切る方針を示しています。応急仮設住宅が打ち切られれば、多くの避難者が経済的な理由で避難をあきらめなければならず、望まない帰還を余儀なくされる避難者が続出し、社会的混乱を生じかねない状況となることでしょう。避難者の願いを無視し、行政の都合で帰還を強制することは許さることはありません。

これに対して、以下の施策を実行することを求める署名活動が始まっています。

(1) 応急仮設住宅の供与の打ち切りを撤回すること

(2) 全ての原発事故避難者に対し、みなし仮設住宅等の避難用住宅を無償で長期間提供することを確約し、実行

すること

(3) 建設型(プレハブ)仮設住宅からみなし仮設住宅への移転や、みなし仮設住宅間での移転など、生活状況に合わせ、他の応急仮設住宅への転居を柔軟に認めること

(4) 汚染地域からの新規避難者に対する避難用住宅の無償提供を再開すること

(5) 避難者の意思に反した「帰還」の推進をやめ、(2)等の具体的施策を明記した新規の総合的支援立法の制定(自治体にあっては制定への働きかけ)をすること。

ふるさとを追われ余儀なく避難を続けざるを得ない方々の生活をまもるために、より多くの人々が声をあげて、その声を国や福島県に届け続けていくことが必要です。その手段の一つとなるのが署名です。これからも、幾度となく、避難生活を守るための、さまざまな署名が行われていくことになるものと思われます。ぜひ、ご理解とご協力をお願いいたします。

署名実施主体:ひなん生活をまもる会

署名呼びかけのホームページ:<http://goo.gl/ElEyL3>

(震災支援ネットワーク埼玉 愛甲)

3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがいつながりカフェ
 定例月1回
 10月1日(木)9:30~11:30
 11月5日(木)9:30~11:30
 定例サロン
 いぎいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 080-5532-7380(薄井さん)

4 寄り添いステーション ころっせ くわっせ双葉
 10月17日(土)、11月21日(土) 朝市&よりせいコンサート 10:00~14:00 加須ふれあいセンター
 11月1日(日)10:00~14:00 加須市銀杏祭 ふれあいセンター9:00集合
 寄り添いステーション騎西
 加須市正能11-5
 090-1650-2874(富沢さん)

5 ぴえろの遊び広場
 10月24日(日) 手打ちうどんを作ろう 10:00~14:00
 加須ふれあいセンター
 k_sakamoto@seigakuin-univ.ac.jp
 (坂本さん)

6 負けねっちゃきらり
 石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。
 伊奈町 ☎ 090-7244-9267(高橋さん)

7 向原団地被災者の会
 時々集まって繋がって行きましょう!
 (次は10月10日の予定です。)
 向原団地集会所
 上尾市 ☎ 080-6044-2922(富永さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
 シラコバト団地を中心に情報交換会と物資配布を行っています。
 毎月第1土曜日10:00~12:00
 10月3日(土)会合 10:00~12:00 シラコバト団地第一集会所
 11月1日(日) 11:30~15:00 収穫感謝祭・芋煮会
 シラコバト団地24号棟前広場・第一集会所
 上尾市 ☎ 048-607-6723(団地自治会事務所) ☎ 080-3091-6215(橘さん)

10 ふるさと交流サロン
 21回で閉会しましたが、再会の機会をつくりたいと思います。
 熊谷市 ☎ 080-5430-5452(駒宮さん)

12 お茶っこふるさと会
 毎月第4 週水曜日10:00~12:00
 ネット21 久喜事務所
 久喜市本町2-1-59
 ☎ 090-6855-7140(木幡さん)

13 杉戸元気会 つつじの里サロン
 定例サロン毎週木曜日13:30~15:30
 国家公務員宿舎杉戸住宅(つつじの里サロン)杉戸住宅6-301
 ☎ 0480-33-3455(佐藤さん)

11 羽生つながりカフェ
 10月11日(日) 女性センターまつり 10:00~15:00 福島民報社パネル展「福島の記録」
 パープル羽生
 羽生市 ☎ 080-5532-7380(薄井さん)

15 ひだまり広場
 月1回参加費無料12:30~16:30
 10月18日(日)、11月15日(日) ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
 ☎ 090-2433-6057(廣瀬さん)

16 越谷避難者の会
 越谷市 ☎ 090-9425-2001(石上さん)

14 春日部つながりカフェ
 10月15日(木)13:30~16:00 コーププラザ春日部 2F第1会議室
 ※法律相談、こころの相談できます
 048-829-7400(SSN)

21 梨の実スペース 大熊町コミュニティ支援関東事務所
 大熊町出身の復興支援員もお待ちしていますのでぜひ遊びにきてください!金曜日以外にお越しの際は、事前にご連絡ください。
 毎週金曜日10:00~16:00
 大熊町コミュニティ支援関東事務所
 さいたま市浦和区仲町2-15-4
 ☎ 048-711-7135

22 浪江のしゃべり場 浦和の8畳間
 浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。
 月曜日~金曜日10:00~17:00
 浪江町復興支援員 埼玉事務所
 さいたま市 ☎ 048-833-8731(埼玉労協)

26 お茶飲み交流会
 市内に避難してきた方々の「お茶のみ交流会」を2か月に1回のペースで実施中。隔月1回 10:00~12:30
 9月26日(土)市民福祉活動センター(ばれっと)会議室10:00~富士見市 ☎ 049-251-2711(富士見市安心安全課 梶田さん)

27 おあがんなんしょ
 1 いろいろばだ本音で語り合う時間
 2 お茶にすっぺワイワイ楽しい時間
 10月18日(日) 皆で郷土料理をつくらう 西公民館調理室
 11月15日(日) オレゴンの生縦でクリスマスアレンジづくり
 13:00~ フクトピア
 ☎ 090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
 心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。
 毎月1回10:00~15:00
 10月23日(金)10時~川越ウエスタ和室 ADRと訴訟の座談会 →詳細5ページ
 11月 甲状腺エコー検査の画像診断をしてもらう座談会※日程調整中
 070-5080-4494(鈴木さん)

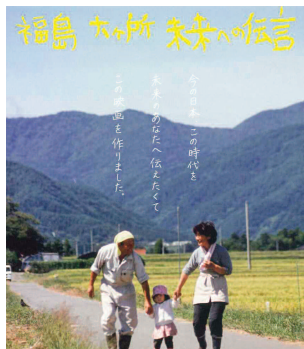
こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
 (SSN震災支援ネットワーク埼玉)

1 パーベキュー大会 10月31日 →詳細1ページ

2 コープみらいフェスタ 11月3日(火・祝日) →詳細1ページ

3 トトロの森でお散歩しませんか?ぼろろんの時間
 10月10日(土) →詳細2ページ

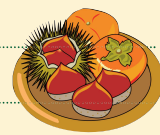
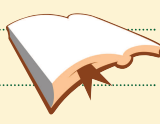
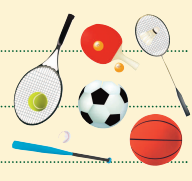
4 福島原発事故責任追及訴訟 第8回期日
 11月25日(水) →詳細8ページ



5 映画上映「福島 六ヶ所 未来への伝言」
 郡山環境保全農業研究会代表 中村和夫さんのお話
 日時 10月10日(土)
 第1回 10:00~12:30 第2回 14:00~16:30 第3回 18:00~20:30
 会場 ふじみ野市サービスセンターホール(東武東上線福岡駅西口徒歩3分)
 参加費 800円 問合わせ ☎049-278-7071 島袋

1日(木)	3
2日(金)	21 18
3日(土)	8
4日(日)	
5日(月)	
6日(火)	
7日(水)	
8日(木)	8 13 17 19
9日(金)	21
10日(土)	5 7 24 3
11日(日)	11
12日(月)	
13日(火)	
14日(水)	
15日(木)	13 14
16日(金)	21
17日(土)	4
18日(日)	27 15
19日(月)	
20日(火)	
21日(水)	
22日(木)	13 19
23日(金)	21 28 ★
24日(土)	5
25日(日)	25
26日(月)	
27日(火)	
28日(水)	12
29日(木)	13
30日(金)	21
31日(土)	1

10月





1 双葉町民によるボランティアカフェ
 月1回
 10月8日(木)10:00~15:00
 11月12日(木)10:00~15:00
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市騎西501-13 048-829-7400 SSN

2 社協と地域と生協のサロン
 味噌汁とおにぎり地域の方々の情報交換の場をつくっています。お気軽にお越しください。
 毎月第3木曜日10:00~15:00
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市騎西501-13

1日(日)	4 8	11月
2日(月)		
3日(火)	2	
4日(水)		
5日(木)	3 13	
6日(金)	21	
7日(土)		
8日(日)	小鹿野町	
9日(月)		
10日(火)		
11日(水)		
12日(木)	1 13 19	
13日(金)	21 17	
14日(土)	24	
15日(日)	15 27	
16日(月)		
17日(火)		
18日(水)		
19日(木)	13	
20日(金)	21	
21日(土)	4	
22日(日)		
23日(月)		
24日(火)		
25日(水)	12 4	
26日(木)	13 19	
27日(金)	21	
28日(土)		
29日(日)		
30日(月)		



17 つながりの会
 毎月第2木曜日10:30~16:30
 10月8日(木), 11月13日(木)
 東北復興支援販売
 物産・観光情報センター
 (草加駅西口徒歩1分) 草加市高砂1-1-1
 ☎ 048-932-6770 (草加市社協)

18 ひまわりの会
 毎月開催
 10月2日(金) おしゃべりいっぱいサロン 10:00~
 やすらぎ会館
 ☎ 080-5431-0123 (島田さん)

19 さいがい・つながりカフェ
 心ゆくまでおしゃべりできます。お気軽にご連絡ください。
 月2回木曜日11:00~15:00
 10/8(木)、10/22(木)、11/12(木)、11/26(木)
 With You さいたま 4F 和室
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分) ☎ 048-601-3111 さいがい・つながりカフェ

23 和光3・11 つながりカフェ
 11/15(日) 10:00~15:00
 和光市民まつり 被災地応援「和光わんぱくステージ」広沢小学校校庭
 ※東北復興支援品販売、パフォーマンス等
 ☎ 048-452-7606 (和光市ボランティアセンター)

24 新座さいがい つながりカフェ
 月1回 土曜日13:00~16:00
 10月10日(土), 11月14日(土) 13:00~16:00
 国家公務員宿舎 集会室
 新座市 ☎ 090-2402-9155 (谷森さん)
 ☎ 080-6023-2799 (福地さん)

25 青空あおぞら
 毎月第4日曜日
 10月25日(日)13:30~16:00
 新所沢公民館 2F 和室1号
 ※法律相談、こころの相談対応可能。保育付き。
 所沢市 ☎ 048-829-7400 (SSN)

29 鳩のつどい
 月2回 10:00~12:00
 JAXA鳩山宿舎108号鳩山町
 ☎ 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

31 相双ふるさとネットワーク
<http://namieimonikai.com/>

★ 福玉便り発送
 10月23日(金) 13:30~
 おしゃべりにきてくださいね。

30 きずなの会
 毎月交流会を行なっています。
 雇用促進住宅 東松山市

32 福玉・謡曲の会
 ☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

『福玉便り』編集委員会
 連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会
 電話048-833-8731 メール:fukutama@431279.com

福玉便りお送りします。
 ご希望の方にお送りいたします。
 ご連絡お待ちしております。

第10回 広域避難者支援ミーティングin東京

9月18日、広域避難者支援連絡会in東京主催による「第10回 広域避難者支援ミーティングin東京」が開催され、『福玉便り』編集部からは永田・原田が出席いたしました。

第1部は当事者団体の報告として、板橋区の「コスモス会」の方から、「東京都から都営住宅の優先入居の案内が来ており、できれば今の所に住み続けたいが、抽選であることには変わりなく、『被災者同士がかち合ったらどうしよう』と申し込みをしにくくなっている」、「いろんな方の話を聞くと、最終的に決断するのは自分ではかたくないな」と思っている」といったお話がありました。また、町田市の「サロニアFMI会」の方からは、「両親が高齢で認知症を抱えており、介護費用が負担になっている」、「岩手県は県外に復興支援員がおらず、交流会に出ても岩手の方になかなか会えないため、相談

がしにくい」といったお話がありました。第2部はグループに分かれて参加者のテーマを確認できた印象を持ちました。私

がしにくい道筋を一緒に考えていくことが必要ではないでしょうか」と閉会の挨拶がありました。全体的に、避難した方々の悩みがますます個別化・専門化していきな



がしにくい道筋を一緒に考えていくことが必要ではないでしょうか」と閉会の挨拶がありました。全体的に、避難した方々の悩みがますます個別化・専門化していきな

福島原発事故責任追及訴訟 第8回期日

【日付】11月25日(水) 【訴訟】15:00開廷(さいたま地裁)

【交通】JR浦和駅西口より徒歩約10分

【詳細】<http://fukusaishien.com/>

8月25日、区域外避難の方を中心に7世帯22人の方が追加提訴をしました。これまでの原告と合わせて20世帯68人となっています。追加提訴された原告の方の声です。

「やり場のない怒りと悔しさを抱え、母子で避難して日々の暮らしを支えるのに必死、という、生活に追われた月日を過ごしてきました。ある日、張り詰めていた糸が切れたように、一歩も外へ出れないようになってしまいました。それから様々な出会いがあり、何も悪いことはしていない、と思えるようになり、このやり場のない怒りと悔しさを訴えるために、訴訟に参加することになりました。」

そして、9月2日、傍聴席が満席となる中、さいたま地裁で第7回期日が行われました。被告の東京電力は、原告側からの数々の東電の過失を指摘する主張に対して、裁判上での反応をほとんど示していない状況にあります。原発の安全性よりも、自らの利益・効率のみを優先させてきた国と東電がこの事故を引き起こしたことから、その「故意過失」の程度は、賠償額の算定にも大きく影響を及ぼすものとなります。今回は、この点について原告弁護団が法廷の場で厳しく追及するものとなりました。

次回期日では、追加提訴をされた原告の方の陳述が予定されています。ぜひ、皆様、傍聴においでください。

生活協同組合パルシステム埼玉 第1回 東日本大震災復興支援助成金 応募団体募集

「パルシステム埼玉東日本大震災復興支援助成金」は、埼玉県内で東日本大震災復興のために活動している！これから活動を始める！という団体を応援します！

○東日本大震災により、埼玉県に避難している方たちをつなげたい／被災地の子どもたちに埼玉県で遊んでもらいたい／埼玉県に避難されている方たちに情報を発信したい／東日本大震災の被災地と埼玉県をつなげて交流したい／パルシステム埼玉東日本大震災復興支援助成金は、東日本大震災による被災地及び被災者への支援を行う団体に対して、パルシステム埼玉が社会貢献活動の一つとして資金面で支援していく制度です。

- 応募期間 2015年9月1日(火)～10月31日(土)*当日消印有効
- 助成対象期間 2016年4月1日から2017年3月31日までの1年間に実施を計画している活動
- 上限額は1件50万円
- 問い合わせ
パルシステム埼玉 組織運営部048-432-7754